

外国語学部

荒川 みどり

その他（研究ノート）

1. 荒川みどり：T. プレンダーガストによる「マスタリー・システム」の教則書—近代的外国語教授法の先駆け。杏林大学外国語学部紀要 30：123-134, 2018年3月。

岩本 和良

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （講義）大学で学び、英語の面白さ。正則高等学校，東京，2017年11月15日。
2. （講義）“I love you.” の意味って何？—イントネーションの重要性—。東京都立翔陽高等学校，八王子，2017年12月14日。

宇佐美 貴浩

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （企画・運営）写真供養感謝祭。神奈川県鎌倉市浄智寺。2017年11月11日。

楠家 重敏

講演

1. 楠家重敏：小山騰氏『ケンブリッジ大学図書館と近代日本』を読む。日本英学史学会第515回例会，東京，2017年11月4日。
2. 楠家重敏：イギリス人の日本研究。五反田 Sherry Museum，東京，2017年11月18日。
3. 楠家重敏：W.G.Astonの「ことわざ」紹介。ことわざ学会2017年度フォーラム，三鷹，2017年11月25日。
4. 楠家重敏：ネズミはまだ生きている—私の回顧と展望。杏林大学外国語学部アカデミア，東京，2018年3月5日。
5. 楠家重敏：1858年の修好通商条約—回顧と展望。日本仏学史学会第489回例会，東京，2018年3月24日。

論文

1. 楠家重敏：サトウの英文論説と『英国策論』。杏林大学外国語学部紀要 30：11-37, 2018年3月。

著書

1. 楠家重敏：＜年譜＞駐日イギリス外交官の日本語学習・日本研究（1853~1878）。東京，杏林大学外国語学部紀要別冊，2017年。
2. 楠家重敏：ジャパノロジーことはじめ—日本アジア協会の研究。京都。晃洋書房，2017年。

黒田 有子

その他（書評）

1. 黒田有子：五十嵐博『メルヴィル—“真実の語り手”になった鯨捕り』。Sky-Hawk 5：44-47, 2017年2月。

齋藤 智志

論文

1. 齋藤智志：「普遍妥当的教育学の可能性について」再読—ディルタイの教育学と世界観学を繋ぐものと隔てるもの。杏林大学研究報告 教養部門 35：15-26, 2018年2月。

その他（実践報告）

1. 齋藤智志：アクティブラーニングによる介護等体験事前指導—学生どうしの教え合いによる〈授業づくり〉への

最初の気づき。杏林大学教職課程年報 4：77-83, 2017年10月。

その他（団体役員）

1. （理事・協会誌編集委員）日本ショーペンハウアー協会
2. （理事・協会誌編集委員）日本ディルタイ協会
3. （理事）実存思想協会
4. （委員）三鷹市生涯学習審議会

坂本 ロビン

講演

1. 坂本ロビン：青い目から見た日本。いきがい川越学園講演会，川越，2017年6月14日。
2. Robin Sakamoto ほか：Building Intercultural Competence through the MEXT Global Human Resources Development Program. SIETAR USA, USA, 20th October 2017.
3. 坂本ロビン：国際人とは何か。グローバルデイ講演会（聖徳学園高等学校），東京，2017年11月4日。
4. Robin Sakamoto：Empowering Future-Ready Graduates by Developing Trilingual Global Leaders. APAIE 2018, Singapore, 27th May 2018.

論文

1. Robin Sakamoto：A Japanese Research Agenda for Adapting to Changes in Internationalizing Higher Education. 杏林大学外国語学部紀要 30：1-9, 2018年3月。

その他（団体役員）

1. （委員）宮崎国際大学外部評価委員会
2. （理事）三鷹国際交流協会
3. （委員）みたか国際化円卓会議

志村 良浩

著書

1. 志村良浩：ケータリング（第14章）。エアライン・ビジネス入門。稲本恵子編著。京都。晃洋書房，2017年。120~126。

詹 満江

論文

1. 詹満江：大沼枕山『歴代詠史百律』に描かれた隠逸の形象。杏林大学外国語学部紀要 30：1-11, 2018年3月。

著書

1. 詹満江ほか：中国文化事典。中国文化事典編集委員会編。東京。丸善出版，2017年。

高木 眞佐子

講演

1. 高木眞佐子：ウィリアム・キャクストンの印刷用手稿に見るテキスト改変。日本中世英語英文学会第33回全国大会，東京，2017年12月3日。
2. 高木眞佐子：英語学分野ゼミナール研究発表会講師。信州大学人文学部英米言語文化コース，松本，2018年2月14日。

論文

1. Masako Takagi：The Printer's Copy at Caxton's Print Shop: Some Observations on Huntington MS HM 136.

杏林大学外国語学部紀要 30: 67-85, 2018年3月.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (通訳) 杏林大学—青梅市御岳山地域交流イベント「天空芸者ナイト」にて通訳・外国人アンケート(みたけ山商工会議所主催). 御岳山特設ステージ及び宿坊能保利, 2017年11月10日, 11月17日.
2. (記事) 大学倶楽部: 杏林大: 東京・青梅商工会議所が訪日外国人誘致 留学生ら招き課題探る. 毎日新聞, 2017年8月15日.
3. (講師) 杏林大学職員向けTOEIC講座. 東京, 2017年12月11日, 12日, 18日, 25日.

その他(団体役員)

1. (評議員) 日本中世英語英文学会
2. (副会長) 国際アーサー王学会日本支部
3. (委員) 八王子市「伝統文化ふれあい事業」

玉村 禎郎

講演

1. 玉村禎郎:『源氏物語絵巻』への道. 杏林大学井の頭キャンパス図書館ミニレクチャー, 三鷹, 2017年4月26日.
2. 玉村禎郎:『源氏物語絵巻』の方法. 杏林大学井の頭キャンパス図書館ミニレクチャー, 三鷹, 2017年5月17日.
3. 玉村禎郎:辞典今昔. 杏林大学井の頭キャンパス図書館ミニレクチャー, 三鷹, 2018年1月17日.

論文

1. 玉村禎郎:和語と漢語の相補性—基本度から見た転成と借用—. 新村出記念財団設立三十五周年記念論文集: 69-81, 2016年5月.
2. 玉村禎郎:本邦における旅行案内書(I)—萌芽期—. 杏林大学研究報告 35: 27-38, 2018年2月.
3. 玉村禎郎:祇園祭の山鉾に見る外国文化受容の2類型. 杏林大学外国語学部紀要 30: 111-121, 2018年3月.
4. 玉村禎郎:近世における「是非(に/とも/ともに)」—副詞用法を中心に—. 近代語研究 20: 近代語学会, 63-74, 2018年3月.

著書

1. 玉村禎郎:『広辞苑』第7版. 東京. 岩波書店, 2018年1月.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (研究分担者) 仏教文本の総合的研究. 龍谷大学仏教文化研究所.

その他(団体役員)

1. (評議員)(財)新村出記念財団

張 弘(宮首 弘子)

講演

1. Miyakubu Hirokoほか: Toward improving access to HIV testing and treatment among non-Japanese residents in Japan. 2nd Asia Pacific Conference on AIDS & Co-infections. Hong Kong, Thailand, 1-3rd June 2017.
2. 沢田貴志, 宮首弘子, 北島勉: 外国人HIVの動向予測を踏まえた多言語受検・診療支援体制構築の取組み. 第31回日本エイズ学会学術大会, 東京, 2017年11月24-26日.
3. 梶本祐介, 北島勉, 沢田貴志, 宮首弘子: Pre-exposure prophylaxisの費用対効果に関する文献レビュー. 第31回日本エイズ学会学術大会, 東京, 2017年11月24-26日.
4. 宮首弘子: 通訳自主トレーニング法. 感染症医療通訳基礎講座I, 横浜, 2017年11月18日.

5. 宮首弘子: 感染症医療通訳基礎トレーニング・ロールプレアの指導. 感染症医療通訳基礎講座II, 横浜, 2017年12月9日.

論文

1. 張弘(宮首弘子): 医療通訳者研修におけるロールプレイの定量的評価の試み. 杏林大学外国語学部紀要 30: 153-171, 2018年3月.

特許等知的財産関係、報告書等

1. 北島勉, 宮首弘子ほか: 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策事業「外国人に対するHIV検査と医療サービスへのアクセス向上に関する研究」29年度総括・研究報告書(分担研究報告書, 2018年3月).

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (講演) 私の生まれた中国と暮らした日本. 彩の国いきがい大学, さいたま, 2017年6月21日.
2. (講演) あなたの知らない中国の高校生生活. 順天高等学校, 東京, 2017年10月27日.
3. (講師) おもてなし中国語講座 レッスン1~9. セレオ八王子, 八王子, 2018年1月24日, 2月2日, 9日, 14日, 22日, 28日, 3月7日, 3月15日, 3月22日.
4. (連載) 10の扉 中国語で何と言う? 1. まいにち中国語2018年4月号: 102-104, 2018年3月.

長谷川 弘子

論文

1. 長谷川弘子: 雑誌『ホーレン』連載物語としてのゲーテ『ドイツ避難民閑談集』—「学識のない読者」のための娯楽的な物語?—. 杏林大学外国語学部紀要 30: 39-65, 2018年3月.

真野 靖久

著書

1. 真野靖久: 航空機の発達と歴史(第2章). エアライン・ビジネスの歴史的背景(第3章). エアライン・ビジネス入門. 稲本恵子編著. 京都. 晃洋書房, 2017年. 9-31.

Iain Lambert

論文

1. Iain Lambert: "Reading Tasks in Oral English Classes" in Active Learning within Oral English Classes at Tsuda University. 津田塾大学紀要 特別号I: 484-485, 2017年12月.
2. Iain Lambert: How Japanese Learners Approach Non-standard English Texts. Kyorin Journal of Arts and Sciences 35: 57-74, 2018年3月.
3. Iain Lambert: Types of Word Knowledge. 杏林大学外国語学部紀要 30: 87-92, 2018年3月.

嵐 洋子

講演

1. 嵐洋子: 中・上級日本語クラスで音声教育をどう取り入れるか—『伝わる発音が身につく! にほんご話し方トレーニング』を使った実践報告—. 平成29年度「みんなの音声」成果報告会, 東京, 2018年3月16日.

論文

1. 嵐洋子: 日本語教育における媒介語の使用について—文法訳読法からコミュニカティブ・アプローチまで—. 杏林大学外国語学部紀要 30: 135-148, 2018年3月.

その他（学会等および社会における主な活動）

1. みんなの音声プロジェクト（日本語音声教育・音声学の普及、情報共有を目的としたプロジェクト）

その他（教育内容・方法の工夫）

1. （研究代表者）科学研究補助金（若手研究（B））「英語教育と連携した日本語教師養成プログラム開発のためのデータベース構築と教育実践」
2. （研究分担者）科学研究補助金（基盤研究（B））「地域語によるコミュニケーションを支援する聞き取り学習システムの開発と方法論の構築」（研究代表者：馬場良二）

井手 拓郎**論文**

1. 井手拓郎：オンパク導入地域のリーダーの発達プロセス～質的分析手法SCATを用いた探索的検討～．計画行政 40-2：76-89，2017年5月．

その他（教育活動上特記すべき事項）

1. スポーツスタディ（ネイチャーキャンプ）．立教大学全学共通カリキュラムセンター．
2. （他大学出講）ウェルネス福祉演習．立教大学コミュニティ福祉学部．

北村 一真**著書**

1. 森田彰，原田慎一，北村一真，杉本清香：動画で学ぶ英語プレゼンテーションー覚えておきたい8つのモデル．東京：成美堂，2018年．

千野 万里子**その他（研究ノート）**

1. 千野万里子：叶聖陶の言語について(1)ー作品集《稻草人》を資料とした調査項目の抽出ー．杏林大学外国語学部紀要 30：207-223，2018年3月．

鄭 英淑**論文**

1. 鄭英淑：「宣伝」の意味変遷をめぐって．杏林大学外国語学部紀要 30：129-139，2018年3月

野口 洋平**講演**

1. Noguchi Yohei, Kim Jinman & Hanai Tomomi: Does Travelling to Play Pokemon GO Contribute to Tourism?. Asia Pacific Tourism Association (APTA) 23th Annual Conference, Korea, 19th June 2017.
2. 野口洋平：東京都の観光政策と観光資源．東京都「おもてなし親善大使」育成塾，東京，2017年7月25日，8月17日．
3. 野口洋平：東京都の観光政策と観光資源．東京都「おもてなし親善大使」育成塾，立川，2017年8月2日，8月8日．
4. 野口洋平：親子で目指す「TOKYO2020ボランティア」最初の一步．杏林大学公開講演会，三鷹，2017年9月9日．
5. 野口洋平：観光と交通．東京シティガイド検定対策講座（東京観光財団），東京，2017年10月29日，11月12日．
6. 野口洋平：フルパッケージ型海外パッケージツアーの継

続的販売と旅行者の経験・知識・スキル．日本観光研究学会第31回全国大会，金沢，2017年12月3日．

7. 野口洋平：東京の観光．東京都地域限定特例通訳案内士認定研修，東京，2018年1月22日．
8. 野口洋平：パネルディスカッション「観光ホスピタリティ教育の広がり可能性ーそのさまざまな実践」．日本観光ホスピタリティ教育学会第17回全国大会，草加，2018年3月2日．

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （コメンテーター）ISFJ2017政策フォーラム．日本政策学生会議，東京，2017年12月2日．

その他（団体役員）

1. （理事・広報委員長）日本観光ホスピタリティ教育学会．
2. （理事会幹事）長期滞在型・ロングステイ観光学会．
3. （委員）中日本エクシス株式会社CS（顧客満足）評価委員会．
4. （委員）東京シティガイド検定委員会作問部会．

古本 泰之**講演**

1. 古本泰之：PBL等の問題解決型学修における自治体との関わりについて．平成29年度大学コンソーシアム八王子FD・SDフォーラム，八王子，2017年8月24日．
2. 古本泰之：キャンパス移転2年目における地域交流活動の現状と期待．三鷹ケアネット合同事業情報交換会，三鷹，2017年12月9日．
3. 古本泰之・三浦秀之：災害に備えるまちづくり研究ー弱者対応の視点からー．杏林CCRCセミナー，三鷹，2018年12月22日．

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （講師）観光系大学での学び．長野県白馬高等学校大学説明会，白馬，2018年3月5日．
2. （報告）杏林CCRC構想における教育活動．平成29年度杏林CCRC研究所紀要：100-113，2018年2月．
3. （地域志向教育研究報告）災害に備えるまちづくり．平成29年度杏林CCRC研究所紀要：127-137，2018年2月．

その他（教育方法・教育実践に関する発表・講演等）

1. 古本泰之：観光交流文化学科における教育の方向性．杏林大学外国語学部FD研修，三鷹，2017年11月15日．
2. 古本泰之：事業実績紹介．第6回杏林CCRCフォーラム，三鷹，2018年2月10日．

その他（教育活動上特記すべき事項）

1. ゼミナール1・2：JR東日本八王子支社との連携による「おもてなしカード」「訪日外国人観光客誘致イベント」の実施
2. ゼミナール2：アトレヴィ三鷹との連携による「子ども向けイベント」「岩手県産品を利用した料理提供」等の企画実施

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （理事・広報委員長）日本観光ホスピタリティ教育学会．
2. （選考副委員長）三鷹市町会等地域自治組織活性化事業選考委員会．
3. （委員）道の駅八王子滝山運営委員会．
4. （部会長）大学コンソーシアム八王子・産学公連携部会．
5. （会長）八王子市伝統文化ふれあい事業実行委員会．

八木橋 宏勇

講 演

1. 八木橋宏勇：冗長性の文体的要因—母語話者の内省とコーパスデータではなぜ容認度判断に乖離が生じるのか—。日本文体論学会第111回大会，町田，2017年6月17日。
2. 八木橋宏勇：日英語の論理的表現方法と学習者の理解度。日本英語学会第35回大会ワークショップ第1室『英語力の伸張と論理的思考力の伸張について』，仙台，2017年11月18日。
3. 歴代首相はいかにことばを使ってきたか。八王子学園都市大学いちよう塾「政治・社会とことば」，八王子，2018年1月18日。
4. 開放系言語学から見るコミュニケーションの諸現象。八王子学園都市大学いちよう塾「コミュニケーションからことばを捉える『開放系言語学』への招待—日本語と英語を中心に、戦時体験の語りからネット上の言語まで—」，2018年1月22日，29日，2月5日，19日，26日，3月5日，12日。
5. 認知言語学とことわざ研究。ことわざ学会第94回例会，東京，2018年1月27日。

論 文

1. 八木橋宏勇：言語学は女性と男性をどう見てきたか—ダイバーシティ推進に切り込むコミュニケーション論—。杏林医学会雑誌 49-1（特集「女性と多様性」）：43-49，2018年3月。
2. 八木橋宏勇：〈ことわざらしさ〉と新奇性。学会誌ことわざ 8：1-4，2017年6月。

その他（特許等知的財産関係、報告書等）

1. （報告）地域交流委員会（八木橋宏勇ほか）：杏林 CCRC 構想における地域活動。平成29年度杏林大学杏林CCRC 研究所紀要：87-99，2018年3月。
2. （報告）八木橋宏勇：英語力の伸張と論理的思考力の伸張について。JELS 34：189-190，2018年9月。

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （企画・運営）英語辞書学の世界—ことばを紡ぐ・ことばを使う・ことばを教える。「言語と人間」研究会5月例会，三鷹，2017年5月21日。
2. （企画・運営・司会）デジタル時代の言語状況とこれからの地球ことば村。NPO法人地球ことば村—世界言語博物館主催・慶應言語教育研究フォーラム共催，東京，2017年6月10日。
3. （企画・運営）英語の授業における『英語』の多声的テキスト化について。「言語と人間」研究会6月例会，三鷹，2017年6月25日。
4. （講義）ジブリ映画字幕翻訳から学ぶ異文化間コミュニケーション。グローバル関連科目夏季集中講座（科目B「英語をとりまく多彩な学問」），三鷹，2017年8月24日。
5. （運営）認知言語学セミナー。豊中，2017年9月15日。
6. （運営）日本認知言語学会第18回全国大会。豊中，2017年9月16日，17日。
7. （講義）ジブリ映画字幕翻訳から学ぶ異文化間コミュニケーション。東京都立武蔵村山高等学校，武蔵村山，2017年9月27日。
8. （運営）庄司和晃氏のことわざ研究。ことわざ学会第93回例会，三鷹，2017年9月30日。
9. （講義）ジブリ映画字幕翻訳から学ぶ異文化間コミュニケーション。神奈川県立住吉高等学校，川崎，2017年10月5日。
10. （運営）日本英学史学会第54回全国大会。三鷹，2017年10月21日、22日。
11. （企画・運営）認知言語学から見た英語の構文交替：場

所格交替を中心に／自由間接話法をマンガ学から考察する。「言語と人間」研究会10月例会，三鷹，2017年10月22日。

12. （総合司会・研究発表司会）コラム文体論—IntertextualityとDialogism—。日本文体論学会第112回大会，東大阪，2017年10月29日。
13. （運営）ことわざ学会第29回ことわざフォーラム。三鷹，2017年11月25日。
14. （企画・運営）聖書でたどる英語の歴史。「言語と人間」研究会12月特別講演会，三鷹，2017年12月10日。
15. （講義）ジブリ映画字幕翻訳から学ぶ異文化間コミュニケーション。東京都立小岩高等学校，東京，2017年12月20日。
16. （監修）世界のことば検定。第13回MIFA国際交流フェスティバル，東京，2018年2月11日。
17. （運営）ことわざ研究と日本語コーパス入門。ことわざ学会第95回例会，三鷹，2018年2月24日。
18. （企画・運営）「言語と人間」研究会（HLC）第43回春期セミナー。「言語と人間」研究会主催，東京，2018年3月3日，4日。

その他（教育内容・方法の工夫）

1. （研究代表者）科学研究補助金（基盤研究（C））「用法基盤モデルに基づく英語ライティング用教材『テンプレート』の開発」
2. （研究分担者）科学研究補助金（基盤研究（C））「聖書イディオムの生成と翻案の通時的研究」（研究代表者：橋本功）
3. （研究分担者）科学研究補助金（基盤研究（C））「言語習得理論に基づく小学校英語教育のボトムアップ型学習モデルの構築」（研究代表者：菅井三実）
4. （研究分担者）科学研究補助金（基盤研究（C））「伝統的心性の自覚から異文化コーディネーターとしての成長を促す英語教育法研究」（研究代表者：遠山菊夫）
5. （研究協力者）博報堂財団・児童教育実践についての研究助成事業「用法依存理論に基づく小学校英語教育の学習モデル構築」（研究代表者：菅井三実）
6. （研究分担者）公益財団法人日本健康アカデミー「健康知識・教育に係る公募助成」事業「超高齢社会の死生学教育の教材開発—エリザベス・キュブラー・ロスの未公開映像資料教材化の試み」（研究代表者：蒲生忍）

その他（団体役員）

1. （理事・事務局代表）日本認知言語学会
2. （広報委員）社会言語科学会
3. （運営委員・学会誌編集）日本文体論学会
4. （理事・企画検討委員会委員長・電子出版部編集長）NPO法人地球ことば村世界言語博物館
5. （外部委員）独立行政法人国際観光振興機構（日本政府観光局）

その他（教育活動上特記すべき事項）

1. （他大学出講）英語学Ⅲ・Ⅳ（認知言語学）。慶應義塾大学文学部。
2. （他大学出講）英語第Ⅰ。慶應義塾大学法学部。
3. （他大学出講）英語ライティング5。慶應義塾大学通信教育部。

海谷 千波

講 演

1. 原和也・小山慎治・海谷千波：石井敏先生を偲ぶ会。多文化関係学会関東支部研究会，浦安，2017年7月23日。

論 文

1. 海谷千波: 英語の領域統合型授業力向上に向けて—学生が学習指導を授業体験する場としての授業実践—. 杏林大学 教職年報 4: 45-55, 2017年10月.
2. 関澤浩一・亀崎路子・海谷千波・渡辺剛: 三鷹市・羽村市の小中学校におけるインターンシップ実践報告—養護教諭を目指す杏林大学保健学部のインターンシップ実施学生を対象とした質問紙調査および活動報告書から—. 杏林大学 教職年報 4: 85-95, 2017年10月.

藤田 由香利

論文

1. 藤田由香利: 中国語学習者の学習ストラテジー選択における一考察. 杏林大学外国語学部紀要 30: 171-185, 2018年3月.

その他（学会等および社会における主な活動）

1. （講義）中国北京と普通話について. 聖徳学園高等学校, 武蔵野, 2017年7月10日.
2. （講師）孔子学院総部「外国漢語教師培訓」教員研修. 工学院大学, 東京, 2017年8月4日・5日.

